

東京も桜が綺麗な季節が落ち着いた印象。そして騒がしい世間の状況に関わりなく新たな船出の季節。今春、新たな船出を迎えた金山のみなさまの輝かしい前途、祈念しております。

さて今月は、東京金山会役員会までのご報告と、非定期連載の東京金山コラムをお届けします。

2021年3月27日 東京金山会の役員会を開催しました。まず、議論の結果、今年度の懇親会を見送りすることとしました。東京金山会総会については、みなさまへ郵便をお送りしておりますので、ご確認いただければ幸いです。

当面の情勢を踏まえ、金山町の出身者、ゆかりのある方々が交流出来る場の提供は、引き続きリスクを最小化した形で、開催規模をコンパクトにするなど、工夫しながら模索したいと考えています。「若者達のサポート」しっかり出来るよう、柿崎会長以下、取り組んで参りますので、どうか引き続き、宜しくお願いいたします。



「東京金山コラム」Vol.4「山」

金山出身者の「故郷の山」といえば「神室山」。温泉もあり、子供たちが楽しめる場所。関東で生活していると思うのが「地元の山」と思える場所が、意外と少ないこと。「高尾山」は東京の「地元の山」ではあるけど「神室山」へ抱く気持ちとは違う。「鋸山」（千葉）も眼下に海がみえる絶景。それも「神室山」的ではないなと思う。

日本には昔から地元の山に対しての想いがあり、敬意に似たような感情があるのだと思う。

かつてイザベラバードも、金山の美しい「山」の風景に想いがあったように思える。初めて観た金山は、当時のみちから、薬師山、中の森、熊鷹森だろうか。イザベラバードの観た景色、美しい田園風景と、金山滞在で好きになった「神室山」だったんだろうと思う。

世界へ飛び立つ若者には、日本の地元の「山」がある事は、きっと支えになる。殊に、我々金山出身者は「神室山」が、心のなかの「山」であり「支え」であり続ける。「山」に対しての気持ち、いつも静かに持ち続けていきたいですね。



No.183 「森の子ども図書コーナー」 交流サロンぽすと内



『ちっちゃいやつ』
（ロブ・ハドソン／作
ダニエル・カール／訳
マイクロマガジン社）

洞穴があった。そごさ、ちっちゃいやつが住んでいたけど、ずっとそごから出でこねえ。…そりゃ、狼がいっからだ。

「ねえ、ちっちゃい君、出でて一緒に遊ばねが？おらだち、すっごくええ友達になれっからよ」狼が言った。

「やんだ。おらには、もう友達が二人いっから」ちっちゃいやつがそう言って、いつまでたっても出でこねえ。

その後も、狼は昼も夜も雪でもやってきて、“ちっちゃいやつ”をおびき出そうとあの手この手で頑張ります。果たして狼の作戦は、成功するのでしょうか？味のある山形弁も魅力です。

「図書室だより」

中央公民館内 9：00 ▶ 16：00

『言いかえ図鑑』
（大野明子／サンマーク出版）

誰かの「ひと言」にイラッとしたことありませんか？「悪気はなかったのに、ちよっとしたひと言で相手を不機嫌にさせてしまった」苦い経験はありませんか？本書では、人間関係がぐんとスムーズになる「よけいなひと言」を「好かれるセリフ」に言いかえるパターンを徹底的に解説しています。



『できるかな？人体おもしろチャレンジ』
（坂井健雄／えほんの杜）

遊びながら学べる！友達と一緒にやりたくなる！

本書では、子供たちでも簡単に試せたり、観察できて、思わず自分の体で確認したくなるような「人体の不思議」を多数紹介。

◎4人に1人、耳に進化の名残があるよ

◎ラーメンをすすると鼻水が出てくるよね、ちよっと恥ずかしい



行政相談委員に川崎恵佐夫さんが再任 困ったら悩まず行政相談を

令和3年4月1日付けで総務大臣から川崎恵佐夫さん（内町）が町の行政相談委員に委嘱されました。行政についてお困りにな



っていることがありましたら、いつでも上記の相談窓口までお気軽にご相談ください！

相談窓口

行政相談委員 川崎恵佐夫
☎ 52-7386

【定例行政相談所】

行政への苦情・意見要望、行政の仕組みや手続きに関する相談を受け付け、解決に向けて活動します。

●日にち（1月～3月は自宅で受け付けます）

5月7日	6月4日
7月2日	8月6日
9月3日	10月1日
11月5日	12月3日

●時間 9時～11時

●場所 農村環境改善センター和室